

# 2023年度 学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校 全日制

学校教育目標	重点目標
<p>新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる (re デザイン:繰り返し描き実現して行く) (教育方針)</p> <p>◇育てたい人間像 ○あきらめない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていく人 ○自然や地域文化を大切にすることをもち、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人</p> <p>◇育てたい力 ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』</p>	<p>①いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ②あらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、生徒の能力や個性を伸ばすことで、進路希望の実現を図る。 ③生徒会・部活動などの諸活動を積極的に支援し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。 ④地域社会との連携と開かれた学校づくりを推進する。 ⑤「夢に挑戦する学び」、「未来の学校」、「BYOD」への対応を進める。</p>

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分  
アンケート集計 5…よい 4…おおむねよい 3…どちらともいえない 2…やや不十分 1…不十分

自己評価	学校評議員記入欄		
学習指導	評価	評価	コメント
<p><b>授業内容の充実</b></p> <p>【成果と課題】 授業アンケートの結果を見ても授業内容が充実している。生徒も授業に対して積極的に取り組んでいると言える。ICT機器を導入し、各教科の特性を活かした授業が多く展開されている。今後は、デジタル教材や新たなツールの導入によりタブレットをより有効に使うことが求められる。</p> <p>【改善策・向上策】 タブレット導入の授業については、教員間での積極的な意見交換、公開授業を積極的に実施することや他校の実践例の研究を行うことが望ましいと考える。</p>	A	A	<p>・タブレットの活用。 ・デジタル化は時代の流れで先生も大変ですね。</p>
<p><b>家庭学習の習慣</b></p> <p>【成果と課題】 学校から出された課題はほとんどの生徒は行っている。しかしながら受動的な姿勢が多く見られ、自ら考えて学習方法を身につけていくことが必要とされる。</p> <p>【改善策・向上策】 各教科において、学習方法のベースをしっかりと説明して実践できるような働きかけがさらに必要となる。自ら課題を見つけ解決していく力を、生徒が身につけるような学習指導を行わなければならない。短い時間で集中して取り組むことも必要である。</p>	B	B	<p>・受動的な生徒さんが多くご苦労されていることを存じております。学習者としての態度は早期から指導が必要と考えます。更なるご指導をお願いします。 ・受動的な生徒が多いということで、自主的に出来るように気合が大事。</p>
<p><b>授業・補習内容の充実</b></p> <p>【成果と課題】 各学科で実施している補習にはほぼ全員の生徒が参加している。各学科に特化した補習が実施されている。3年生については放課後や土曜を利用した補習を実施することで学力の向上に努めている。理数科については土曜授業の影響もあり、放課後補習に重点を置かなければならないのが現状である。日課表や教育課程の見直しが必要となる。</p> <p>【改善策・向上策】 休業中や土曜日の補習については、各教科の特性を活かした内容を十分に検討し実施する必要がある。</p>	B	B	<p>・塾・予備校のない木曾では受験の要点を教えて自主勉強を進めるのも一つの方法ではないか。</p>
<p><b>各種資格検定への取り組み</b></p> <p>【成果と課題】 目標を持ち積極的に資格取得に挑戦する生徒が多く、熱心に学習する姿が見受けられた。資格取得や検定試験に合格することで次の目標に向かう意欲が持っている。</p> <p>【改善策・向上策】 資格取得学習の充実と改善を図っていききたい。目標を高く持ち毎日の学習が充実したものになるようにしたい。合格したことから自信を持たせ、次の目標に向かわせたい。</p>	A	A	<p>・企業で取り入れている補助金制度が活用できると良いと思います。 ・資格は大事です。</p>

進路指導	評価	評価	コメント
<p><b>進路目標の明確化</b></p> <p>【成果と課題】 さまざまな進路情報がある中で、生徒にとって必要な情報を精査し伝えた。また、生徒が主体的に進路選択ができるように、進学相談会や講演会等を実施した。郡内企業説明会や進路ガイダンス、志願理由書作成等の本校独自の取り組みも定着してきた。</p> <p>【改善策・向上策】 キャリア教育と学科の特色を生かす進路指導の研究を継続して行い、生徒が目標実現を意識しつつ充実した学校生活を送るようサポートしていききたい。</p>	A	A	<p>・就職希望者については企業との共有を更に実施して頂き、地元での就職を活性化して頂きたい。 ・進路ガイダンス進学は生徒は一番有難いです。</p>
<p><b>具体的な進路指導</b></p> <p>【成果と課題】 学科の特性や生徒の要望に応じた進路指導が各学科、各学年で行われており、成果につながった。 年内入試（推薦型・総合型選抜）の結果を踏まえて今年度は12月にも進路検討会を実施した。 進学・就職の様々な情報も生徒が活用しやすいように整理している。 来年度は新課程入試となるため、さらに研究をしていく必要がある。</p>	A	A	

<p>【改善策・向上策】 今後も主体的な進路選択と実現に向けて1年次から進路指導を充実させたい。年内入試（学校推薦型選抜・総合型選抜）の割合が増加しているため、講演会等を計画し、心構えや入試対策等に備え、進路選択の一助にしたい。</p>			
<p>進路の実現</p> <p>【成果と課題】 大学進学希望者自ら行う、幅をもたせた志望校選択は、生徒の希望に沿った受験校の選択に役立った。今後も継続していきたい。 大学入学共通テストについては、昨年の反省を踏まえ各教科を中心に対応した。増加傾向にある学校推薦型選抜、総合型選抜においては、出願生徒の検討、種類作成の指導、面接小論文指導等十分指導できた。面接小論文指導においては、早めの指導を行うことができた。</p> <p>【改善策・向上策】 大学調査や企業見学等の進路行事をはじめ、学校生活から学び考えたことから、自己理解を深め、早期の目標設定ができるように指導し、目標に向けて努力する力をつけたい。</p>	A	A	<p>・進路はご本人の希望が重要と考えますが、選択するための材料が必要と思います。今後もより多くの情報で選択肢が増えることを期待しています。 ・教師の指導で生徒が現実を学べて有難い。</p>

生徒支援	評価		
<p>生徒の人権意識・自己指導力の育成</p> <p>【成果と課題】 学校生活アンケートやSSTを取り組むことで、少しずつではあるが、対人関係のスキルを身に付け、人間関係の構築が図れるようになった。また、授業や部活動、生徒会活動やHRでの主体的に取り組みが多くみられ、生徒自身が律する力が高まった。</p> <p>【改善策・向上策】 SNSの使用方法やSSTやゲートキーパー講座で学んだことを、さらに日常生活に生かせるよう、働きかけをしていきたい。生徒に考えさせ自己のコントロールできる力や自制心を身に付けられるよう自ら行動に移せるような場面を意識させていきたい。</p>	B	B	・Aに近いBです。
<p>社会性の涵養</p> <p>【成果と課題】 コロナが明けた初年度として、3年ぶりに行う活動等が多く、社会との関わりを一つずつ構築していく必要がある。主体的に社会と関わりを持つ生徒、社会の一員であるという自覚が持てる生徒を育成していく。</p> <p>【改善策・向上策】 社会とかがかわることができる場面には積極的に場の提供をし、モラル・マナーの向上、社会性・協調性の涵養を目指す。また、あらゆる場が育成の機会であるという認識を全職員が持ち、取り組んでいきたい。</p>	B	B	<p>・コロナで人と関わる機会が少なかった数年があります。今後は社会と関わるためのモラル・マナーの強化が求められると予想しております。 ・アルバイト許可制の緩和。 ・コロナの後社会と交流する姿は素晴らしいです。</p>
<p>カウンセリングの充実</p> <p>【成果と課題】 カウンセリングから問題の背景や要因をつかみ、支援へとつなげることができた。また、カウンセリングからSSWや外部機関へと支援が広がり、校内では支援が難しい場面にも対応することができた。今年度も職員研修で本校カウンセラーを講師として研修を行い、スクールカウンセリングについて、普段カウンセラーと接する機会が少ない職員の理解を深めることができた。</p> <p>【改善策・向上策】 カウンセリングの年間計画立てながらや調整をし、必要とする人がカウンセリングを受けられる体制を整えたい。また、生徒・保護者に相談窓口やカウンセラーの紹介などを行い、カウンセリングの存在や利用方法について周知していきたい。</p>	A	A	・研修をしている姿は尊敬します。

特別活動	評価		
<p>自主活動の充実と生徒の自立</p> <p>【成果と課題】 生徒会によるSNSを活用した情報発信や学校環境整備など、生徒自らが発案し主体的な生徒会活動が行われた。コロナ禍に導入された生徒総会のONLINEによる実施では、生徒の活発な意見交換が行われにくく、運営方法を含めさらに工夫が必要である。各委員会と連携した生徒会運営に向けて、委員長会義などを新たに設定したが、各係がより主体性を持ち活動できるよう連携を深めていきたい。</p> <p>【改善策・向上策】 生徒の提案を取り入れやすい生徒会運営にむけて、生徒総会前後の意見収集や還元策を検討している。生徒総会の開催方法については前回はアンケートを参考に、第1回（4月）と第3回（10月）を集会形式、第2回（6月）と第4回（1月）をONLINEで実施することとし、活発な意見交換方法について検討を進めている。生徒自主企画を採用し、主体的な活躍機会を広げる。</p>	B	B	・校内弁論大会を開き自主性を進めて下さいませ。
<p>地域を視野に入れた活動</p> <p>【成果と課題】 3年ぶりに蒼陵祭が一般公開となり、地域から多くのご来場をいただき、生徒達が活躍する姿が見られた。総務会提案で、全校生徒とPTAの協力を得て地域の魅力を探求し発信する情報誌の作成し普及活動も行った。新規に作成した生徒会HPでは、生徒から集めた情報や生徒会の取り組みを外に紹介するなど地域に目を向けた活動が行われた。地域の祭りにも3年ぶりの生徒会協力が実現した。</p> <p>【改善策・向上策】 生徒がより主体的に地域活動に参加できるよう、安全対策や地域との情報共有などの体制を整備することで生徒が地域で活躍する機会を増やすことができると考える。地域には学校の教育活動に関心を持つ組織や団体が多く存在し、協力を得ながら地域にも生徒たちの居場所をつくり、生徒の将来につながる自主的な活躍の場を増やしたい。</p>	A	A	・地域を視野に入れると、将来の木曾がよくなります。

全般	評価		
P T A活動の充実・家庭との連携			

<p>【成果と課題】 PTA総会および地区PTA懇談会を従来通り開催することができた。会員減少のため檜川と木祖を合同で実施した。 学校環境委員会、学校行事委員会、文化委員会の活動を予定通り実施できた。 生徒会活動の一環としてPTA予算から「木曾Discovery」のパンフレットを作成した。 PTAへの加入について保護者と教員共に対策を考えなければならない。</p>	B	B	<p>改めてPTAの今後のあり方と必要性を考えていく必要があるかと思えます。 ・PTA活動に地区の公民館又一般の人も参加できるようになると良いです。子供は国の宝です。</p>
<p>【改善策・向上策】 PTA地区懇談会のあり方を再検証して少子化が進むなか再編成をする必要がある。今年度は参加する教員の数を減らして負担を軽くするようにした。</p>			
<p>情報発信</p>			
<p>【成果と課題】 ホームページでは授業の様子など随時更新を行った。本校関連の新聞記事の掲載は約40件あり、地域に向けた発信を積極的に行っている。 スクールマガジンは今年度第5号までの発行予定である。1月に木曾地域タウンミーティングにおいてインテリア科展示会・「未来の学校」発表会の紹介を行った。</p>	A	A	<p>・タウンミーティングの中身をもっとPRして欲しかった。</p>
<p>【改善策・向上策】 来年度4月からは新たなホームページとし、スマートフォンでも見易くするよう昨年11月から作成を始め、準備中である。 校内に留まらず、積極的にコミュニティに赴き、広報活動を実施していきたい。</p>			
<p>地域との連携・開かれた学校づくり</p>			
<p>【成果と課題】 5月より新型コロナウイルス感染症が5類となり、予定していた行事は、制限をかけることなく実施することができた。文化祭（蒼陵祭）をはじめ地域の方に来校いただくことができた。 体験入学は昨年度に比べ、中学生の参加者が減ったが、1日の中で2科の授業を体験してもらうことができた。より多くの中学生に本校の魅力を発信していくかが、課題である。 理数科、専門科の課題研究発表会は生徒の学習内容及び成果を保護者へ公開する予定。2月のインテリア科作品展示会は今年度はコロナ前の状況に戻し、一般の方にも来場いただく予定。 2月の「未来の学校」発表会に地域の方々に参加いただくよう広報している。 年間を通しての授業公開を実施したが、より多くの方に来て知っていただくよう広報したい。</p>	B	A	<p>・地域の連携は素晴らしいです。マスクミは利用してくださいませ。</p>
<p>【改善策・向上策】 より積極的に地域の方がと関わり、ホームページでの発信に留まらず、広報活動の充実をめたい。</p>			
<p>生徒・職員の健康管理</p>			
<p>【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症予防のため、生徒・保護者向けの通知を一斉メールを中心に発信を行った。職員への情報提供も併せて行った。 感染状況により、換気の徹底、手指消毒を促すなど感染予防を行った。</p>	B	B	<p>多くの生徒さんに対応することは難しいと存じますが、感染状況がどの程度であったのかを知りたいと思いました。</p>
<p>【改善策・向上策】 生徒保健委員会や生徒会と協力等工夫して、今後も手洗い、消毒等の感染症対策を促していきたい。</p>			
<p>連絡体制の完備</p>			
<p>【成果と課題】 一斉メールにより情報を各家庭に伝える事ができた。内容については、迅速でより正確行うように努力する。</p>	A	A	<p>・紙面印刷通知も年1回位あると良いと思う。</p>
<p>【改善策・向上策】 一斉メールは登録率100%に向け、継続して登録の呼びかけを行なう。 生徒登録と保護者登録の情報の混在が見られるので、登録方法の案内を工夫する必要がある。</p>			